

ノムラ・ボンド・インカム・オープン

運用報告書(全体版)

第102期（決算日2023年12月21日） 第103期（決算日2024年3月21日）

作成対象期間（2023年9月22日～2024年3月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	1998年7月30日から2026年3月23日までです。
運用方針	公社債への投資にあたっては、ソブリン債および国際機関の発行した債券を中心とした優良クレジットの債券に分散投資することを基本とします。ポートフォリオのデュレーションは、原則として概ね1～3年程度で4年を超えない範囲内に維持することを基本とします。カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで収益の獲得を目指します。先物取引等も適宜活用します。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	年4回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税込 分配 金	期騰 落	中 率	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	期騰 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
94期(2021年12月21日)	7,937	10	△0.6	115.82	△0.5	75.6	—	3,837	
95期(2022年3月22日)	7,868	10	△0.7	113.87	△1.7	77.8	—	3,763	
96期(2022年6月21日)	7,749	10	△1.4	112.06	△1.6	79.8	—	3,661	
97期(2022年9月21日)	7,706	10	△0.4	110.95	△1.0	90.7	—	3,605	
98期(2022年12月21日)	7,699	10	0.0	110.33	△0.6	77.2	—	3,578	
99期(2023年3月22日)	7,682	10	△0.1	110.20	△0.1	82.6	—	3,547	
100期(2023年6月21日)	7,647	10	△0.3	108.98	△1.1	87.1	—	3,485	
101期(2023年9月21日)	7,497	10	△1.8	108.06	△0.8	85.6	—	3,391	
102期(2023年12月21日)	7,593	10	1.4	109.01	0.9	92.0	—	3,377	
103期(2024年3月21日)	7,479	10	△1.4	108.09	△0.8	97.0	—	3,263	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* FTSE世界国債インデックス（1-3年）は、FTSE Fixed Income LLCが開発した世界先進主要国短期国債（1-3年）市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数の一つです。ファンドは、当インデックスの対円で為替100%ヘッジベースをベンチマークとします。

* 当ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1-3年）の各国別指数（現地通貨ベース）を用い、当社において円ヘッジベースに換算した指数です。なお、設定時を100として指数化しています。

* FTSE世界国債インデックス（1-3年）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスパンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

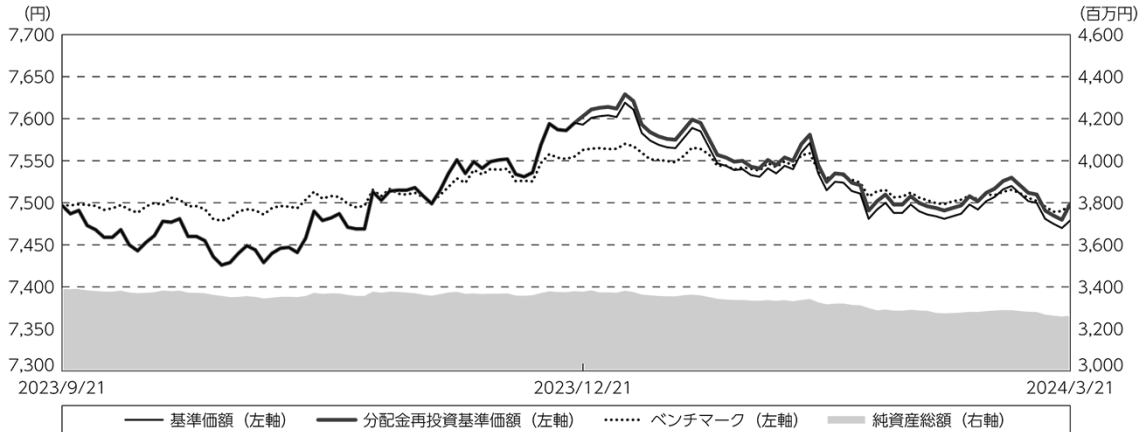
決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	騰落率			
		円	%		%	%	%
第102期	(期首) 2023年9月21日	7,497	—	108.06	—	85.6	—
	9月末	7,459	△0.5	108.01	△0.0	90.5	—
	10月末	7,447	△0.7	108.04	△0.0	91.9	—
	11月末	7,551	0.7	108.52	0.4	93.0	—
	(期末) 2023年12月21日	7,603	1.4	109.01	0.9	92.0	—
第103期	(期首) 2023年12月21日	7,593	—	109.01	—	92.0	—
	12月末	7,611	0.2	109.08	0.1	91.2	—
	2024年1月末	7,540	△0.7	108.74	△0.2	95.0	—
	2月末	7,484	△1.4	108.13	△0.8	95.9	—
	(期末) 2024年3月21日	7,489	△1.4	108.09	△0.8	97.0	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第102期首：7,497円

第103期末：7,479円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：0.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(1-3年)為替100%ヘッジです。ベンチマークは、作成期首(2023年9月21日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の7,497円から当作成期末には7,479円(分配後)となりました。なお、第102期に10円、第103期に10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は2円となりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン(利息収入)。
 (上昇) 組入債券の価格が上昇したことによるキャピタルゲイン(値上がり益)。
 (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト(金利差相当分の費用)。

○投資環境

債券市場<債券利回りは米・独で低下、日でほぼ変わらず>

米国では、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。米国でのインフレ率の低下を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）が将来的な利下げを示唆したことなどが債券利回りの低下要因となりました。

ユーロ圏では、債券利回りは低下しました。インフレ率の低下が見られる中で、ECB（欧州中央銀行）が将来的な利下げを示唆したことなどを背景に、債券利回りには低下圧力がかかりました。

日本では、債券利回りはほぼ変わらずとなりました。2023年10月の金融政策決定会合で日銀が10年金利の上振れを実質的に容認したことなどが債券利回りの上昇（価格は下落）要因となりましたが、米国の債券利回りの低下につれる形で当作成期末にかけて債券利回りは低下しました。

為替市場<円に対して米ドル・ユーロは上昇>

グローバル景気の底堅さが各種の経済指標から確認されたことなどから、市場のリスク選好が高まり米ドルやユーロは円に対して上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・組入債券について

債券組入比率：当作成期を通じて、概ね高めを維持しました。

債券の種類：組入債券の信用力に留意し、国債を中心に高格付け債券に投資しました。

・ファンド全体のデュレーション（※1）

<ファンドのデュレーション>

ファンド全体のデュレーションは、当作成期首から概ね維持しました。当作成期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化としました。

(※1) デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

・為替のエクスポージャー（※2）

当作成期を通じて対円での全体の為替エクスポージャーは抑えめとしました。

(※2) 為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産のうち、為替ヘッジを行っていない部分の純資産額に対する比率のことです。比率が高いほど円安時には為替差益が、円高時には為替差損が発生しやすくなります。当ファンドの為替エクスポージャーは最大限で20%までです（純資産の100%を外貨建てで保有した場合）。

○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額（分配金再投資）の騰落率は+0.02%となり、ベンチマークの+0.03%を0.01ポイント下回りました。

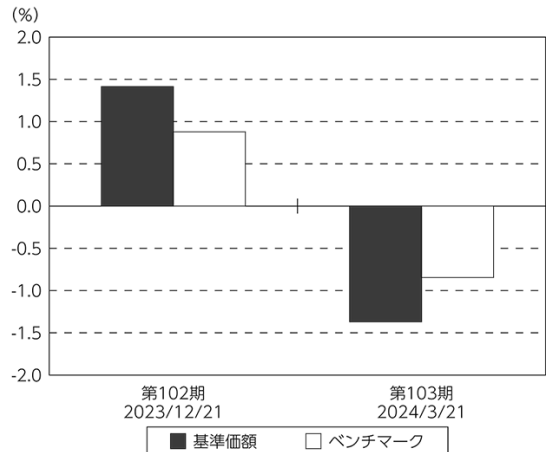
（主なプラス要因）

米ドルがユーロに対して下落する局面で、米ドルをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）、ユーロをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）としていたこと。

（主なマイナス要因）

米国の短中期債をベンチマークに比べ高めの保有比率としたことにより、対円での為替ヘッジのコストが増加したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1－3年）を為替100%ヘッジです。

◎分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万口当たり、第102期10円、第103期10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第102期	第103期
	2023年9月22日～ 2023年12月21日	2023年12月22日～ 2024年3月21日
当期分配金	10	10
（対基準価額比率）	0.132%	0.134%
当期の収益	10	10
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,192	2,223

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

当ファンドは、国内外の金融市場について精緻な投資環境リサーチ及び分析を行ない、好収益が期待できる債券や為替市場への投資を行ないます。金利リスク・国別投資配分リスクに加えて、為替変動リスクもコントロールすることで、より分散されたポートフォリオ構築に努めて参ります。

米国では、景気減速懸念の強まりやFRBの金融緩和への転換に対する市場の期待などから、債券利回りは低下しやすいと予想します。欧州では、景気の減速やECBの利下げへの転換が市場で意識されることで、債券利回りは低下しやすいと予想します。日本では、日銀の緩和的な金融政策からの転換期待を背景に、長期債を中心として債券利回りは上昇しやすいと予想します。ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化とする方針です。また、通貨配分については、ヘッジ比率の調整により米ドルをアンダーウェイト、欧州通貨をオーバーウェイトとします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月22日～2024年3月21日)

項 目	第102期～第103期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.366	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.175)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(12)	(0.164)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	29	0.379	
作成期間の平均基準価額は、7,515円です。			

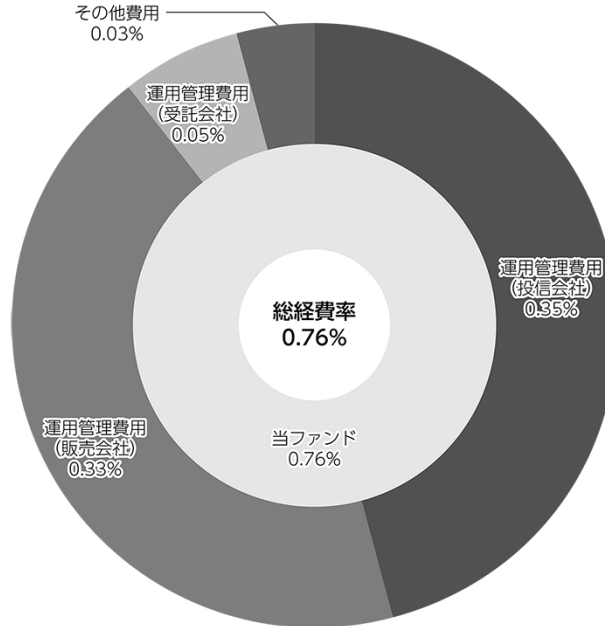
* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月22日～2024年3月21日)

公社債

		第102期～第103期	
		買付額	売付額
国内	国債証券	千円	千円
		—	400,337
外国	アメリカ	国債証券 千米ドル 14,035	千米ドル 11,813
	イギリス	国債証券 千英ポンド 479	千英ポンド 379
	ノルウェー	国債証券 千ノルウェークローネ 2,438	千ノルウェークローネ 2,454
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券 3,633	1,805
	スペイン	国債証券 —	1,310
	ルクセンブルグ	特殊債券 1,004	—
	シンガポール	国債証券 千シンガポールドル 150	千シンガポールドル —
	マレーシア	国債証券 千リンギ —	千リンギ 533
	中国	国債証券 千人民元 2,502	千人民元 6,039
外国	オーストラリア	国債証券 千豪ドル 1,513	千豪ドル 1,289
	ニュージーランド	国債証券 千ニュージーランドドル 526	千ニュージーランドドル 530

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月22日～2024年3月21日)

利害関係人との取引状況

区分	第102期～第103期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 937	百万円 —	% —	百万円 428	百万円 17	% 4.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2024年3月21日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第103期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 13,300	千米ドル 12,892	千円 1,944,036	% 59.6	% —	% —	% 25.8	% 33.7
イギリス	千英ポンド 500	千英ポンド 474	91,464	2.8	—	2.8	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 2,500	千ノルウェークローネ 2,441	34,908	1.1	—	—	—	1.1
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,850	1,839	303,194	9.3	—	1.2	8.1	—
スペイン	1,500	1,477	243,458	7.5	—	—	—	7.5
ルクセンブルグ	1,000	1,005	165,750	5.1	—	—	5.1	—
シンガポール	千シンガポールドル 150	千シンガポールドル 149	16,792	0.5	—	—	0.5	—
中国	千人民元 4,900	千人民元 5,006	104,862	3.2	—	3.2	—	—
オーストラリア	千豪ドル 500	千豪ドル 517	51,626	1.6	—	1.6	—	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 940	千ニュージーランドドル 933	85,687	2.6	—	—	—	2.6
メキシコ	千メキシコペソ 15,000	千メキシコペソ 13,811	124,895	3.8	—	3.8	—	—
合 計	—	—	3,166,676	97.0	—	12.7	39.5	44.9

* 邦貨換算金額は、第103期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第103期末					
			利率	額面金額	評価額		償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B	0.25	3,500	3,279	494,583	2025/8/31	
		US TREASURY N/B	5.0	2,000	2,004	302,328	2025/8/31	
		US TREASURY N/B	2.25	2,100	2,017	304,283	2025/11/15	
		US TREASURY N/B	4.625	2,000	2,008	302,787	2026/11/15	
		US TREASURY N/B	1.75	1,300	1,209	182,419	2026/12/31	
		US TREASURY N/B	4.0	1,200	1,186	178,862	2027/1/15	
		US TREASURY N/B	4.0	1,200	1,185	178,770	2028/6/30	
小計						1,944,036		
イギリス				千英ポンド	千英ポンド			
	国債証券	UK TREASURY	3.25	500	474	91,464	2033/1/31	
小計						91,464		
ノルウェー				千ノルウェークロネ	千ノルウェークロネ			
	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	1.75	2,500	2,441	34,908	2025/3/13	
小計						34,908		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	国債証券	BUNDESobligation	2.4	1,600	1,594	262,828	2028/10/19
			BUNDESREP. DEUTSCHLAND	2.2	250	244	40,366	2034/2/15
	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.15	1,500	1,477	243,458	2025/10/31
	ルクセンブルグ	特殊債券 (除く金融債)	EFSF	3.0	1,000	1,005	165,750	2028/12/15
小計						712,403		
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル			
	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.875	150	149	16,792	2028/8/1	
小計						16,792		
中国				千人民元	千人民元			
	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	2.67	4,900	5,006	104,862	2033/5/25	
小計						104,862		
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル			
	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	4.5	500	517	51,626	2033/4/21	
小計						51,626		
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
	国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.5	940	933	85,687	2024/5/15	
小計						85,687		
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	15,000	13,811	124,895	2031/5/29	
小計						124,895		
合計						3,166,676		

* 邦貨換算金額は、第103期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月21日現在)

項 目	第103期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,166,676	95.3
コール・ローン等、その他	155,064	4.7
投資信託財産総額	3,321,740	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*第103期末における外貨建純資産(3,278,969千円)の投資信託財産総額(3,321,740千円)に対する比率は98.7%です。

*外貨建資産は、第103期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.79円、1カナダドル=111.92円、1英ポンド=192.92円、1スウェーデンクローナ=14.53円、1ノルウェークローネ=14.30円、1デンマーククローネ=22.10円、1ユーロ=164.81円、1ズロチ=38.2268円、1シンガポールドル=112.66円、1リンギ=32.0081円、1人民元=20.9466円、1豪ドル=99.69円、1ニュージーランドドル=91.83円、1メキシコペソ=9.0426円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第102期末	第103期末
	2023年12月21日現在	2024年3月21日現在
	円	円
(A) 資産	6,614,993,810	6,529,310,987
コール・ローン等	136,259,773	120,799,526
公社債(評価額)	3,106,201,576	3,166,676,368
未収入金	3,350,607,078	3,214,706,046
未收利息	12,195,368	19,316,219
前払費用	8,969,980	6,536,697
その他未収収益	760,035	1,276,131
(B) 負債	3,237,914,812	3,265,824,835
未払金	3,225,209,077	3,252,635,194
未払収益分配金	4,447,587	4,363,517
未払解約金	2,066,990	2,718,487
未払信託報酬	6,172,744	6,089,491
未払利息	19	—
その他未払費用	18,395	18,146
(C) 純資産総額(A-B)	3,377,078,998	3,263,486,152
元本	4,447,587,227	4,363,517,632
次期繰越損益金	△1,070,508,229	△1,100,031,480
(D) 受益権総口数	4,447,587,227口	4,363,517,632口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,593円	7,479円

(注) 第102期首元本額は4,524,350,666円、第102～103期中追加設定元本額は64,433,574円、第102～103期中一部解約元本額は225,266,608円、1口当たり純資産額は、第102期0.7593円、第103期0.7479円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額499,077円。

○損益の状況

項 目	第102期	第103期
	2023年9月22日～ 2023年12月21日	2023年12月22日～ 2024年3月21日
	円	円
(A) 配当等収益	19,087,441	23,982,581
受取利息	18,802,660	23,591,436
その他収益金	296,648	394,489
支払利息	△ 11,867	△ 3,344
(B) 有価証券売買損益	34,428,277	△ 63,041,174
売買益	248,340,143	206,247,740
売買損	△ 213,911,866	△ 269,288,914
(C) 信託報酬等	△ 6,449,744	△ 6,253,037
(D) 当期損益金(A+B+C)	47,065,974	△ 45,311,630
(E) 前期繰越損益金	△ 544,514,297	△ 488,919,406
(F) 追加信託差損益金	△ 568,612,319	△ 561,436,927
(配当等相当額)	(776,526,593)	(763,254,219)
(売買損益相当額)	(△1,345,138,912)	(△1,324,691,146)
(G) 計(D+E+F)	△1,066,060,642	△1,095,667,963
(H) 収益分配金	△ 4,447,587	△ 4,363,517
次期繰越損益金(G+H)	△1,070,508,229	△1,100,031,480
追加信託差損益金	△ 568,612,319	△ 561,436,927
(配当等相当額)	(776,526,593)	(763,254,219)
(売買損益相当額)	(△1,345,138,912)	(△1,324,691,146)
分配準備積立金	198,418,866	206,760,029
繰越損益金	△ 700,314,776	△ 745,354,582

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年9月22日～2024年3月21日)は以下の通りです。

項 目	第102期	第103期
	2023年9月22日～ 2023年12月21日	2023年12月22日～ 2024年3月21日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,786,817円	17,729,544円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	776,526,593円	763,254,219円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	186,079,636円	193,394,002円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	979,393,046円	974,377,765円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,202円	2,233円
g. 分配金	4,447,587円	4,363,517円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第102期	第103期
1 万口当たり分配金 (税込み)	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。